



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東
 コード番号 6222 URL <http://www.shimaseiki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 三博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	51,845	27.9	11,254	75.9	12,400	151.0	8,951	156.7
29年3月期第3四半期	40,545	27.7	6,399	137.9	4,940	57.1	3,486	75.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 10,379百万円(119.6%) 29年3月期第3四半期 4,726百万円(229.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	253.55	—
29年3月期第3四半期	101.86	101.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	155,713	123,451	79.3
29年3月期	141,931	104,879	73.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 123,438百万円 29年3月期 104,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
30年3月期	—	25.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	16.9	15,000	33.2	15,000	49.4	10,000	38.9	273.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	36,600,000株	29年3月期	36,600,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	87,823株	29年3月期	2,117,503株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	35,303,591株	29年3月期3Q	34,232,212株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	9
受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済の動向は、米国では良好な雇用環境を背景に堅調な景気拡大が続いており、欧州でも雇用の改善をともなって企業収益が良化するなど景気回復が持続しています。中国においても依然として高い経済成長率を維持しています。わが国においても海外経済の拡大に連動して企業収益が改善し、設備投資が拡大するなど、景気は緩やかな回復基調が続いています。

このような経済情勢の中、当社グループは世界各地のユーザーのニーズに応えるべく、各産地に密着した提案営業を展開しました。

コア・ビジネスである横編機事業の状況は、アジア地域では先進国向けニット製品の大量生産拠点であるバングラデシュやASEAN諸国において、生産リードタイムの短縮化を実現する編成効率の高いコンピュータ横編機の旺盛な需要を受けて「SSR」や「SVR」などの主力機種の上売が順調に拡大しました。また中国市場においても、高付加価値製品を短納期で生産・販売する消費地型ビジネスに適したホールガーメント横編機「MACH2XS」の導入が進んだことや、スポーツシューズ生産向けにコンピュータ横編機の活用が高まったことなどで売上が拡大しました。

欧州でも主力市場のイタリアを中心にホールガーメント横編機を軸として販売が堅調に推移しました。また設備投資が回復基調にある中東のトルコでは、ほぼ前年同期並みの売上高になりました。一方、国内市場においてはコンピュータ横編機の上売高は前年同期を下回る推移となりました。

これらの結果、横編機事業全体では売上高は428億56百万円（前年同期比36.5%増）となりました。

デザインシステム関連事業においては、高精細かつ高速に立体的なデザインシミュレーションを実現する「SDS-ONE APEX3」は堅調な売上となりましたが、自動裁断機「P-CAM」の販売が伸び悩み、売上高は28億98百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

手袋靴下編機事業は、大手ユーザーを中心に受注残高が拡大しましたが、売上高は13億59百万円（前年同期比4.3%減）と、やや減少しました。

部品売上などのその他事業の売上高は47億29百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間全体の売上高は518億45百万円（前年同期比27.9%増）となりました。利益面におきましては、売上高の増加に加えて増産効果による売上総利益率の改善などにより営業利益は112億54百万円（前年同期比75.9%増）と増加しました。また営業外では前期に計上した大幅な為替差損が為替差益に転じたことなどで経常利益は124億00百万円（前年同期比151.0%増）と大幅に増加し、親会社株主に帰属する四半期純利益は89億51百万円（前年同期比156.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産は受取手形および売掛金の増加などで前期末に比べ137億82百万円増加し、1,557億13百万円となりました。負債合計は借入金の減少などで前期末に比べ47億90百万円減少し、322億61百万円となりました。また自己資本の額は、1,234億38百万円となり、自己資本比率は前期末に比べて5.5ポイント上昇し79.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間までの業績は各利益段階において当初予想を上回るペースで推移しておりますが、為替レートの変動や世界経済の動向の影響など先行きに不確実な要素が含まれるため、平成29年10月30日に発表いたしました平成30年3月期の通期の連結業績予想を据え置きます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,160	21,896
受取手形及び売掛金	67,268	71,593
たな卸資産	17,578	19,829
その他	3,573	3,287
貸倒引当金	△1,844	△2,295
流動資産合計	105,736	114,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,755	6,101
土地	10,962	11,391
その他(純額)	5,103	5,850
有形固定資産合計	21,821	23,343
無形固定資産		
のれん	3,873	3,570
その他	273	326
無形固定資産合計	4,146	3,897
投資その他の資産		
投資有価証券	8,058	11,331
退職給付に係る資産	778	858
その他	2,974	3,251
貸倒引当金	△1,583	△1,277
投資その他の資産合計	10,226	14,162
固定資産合計	36,194	41,403
資産合計	141,931	155,713

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,220	4,330
電子記録債務	2,457	1,379
短期借入金	9,975	10,740
1年内返済予定の長期借入金	5,000	-
未払法人税等	2,120	2,427
賞与引当金	865	841
債務保証損失引当金	479	390
その他	6,332	7,092
流動負債合計	32,450	27,201
固定負債		
長期末払金	1,051	1,051
リース債務	1,890	2,217
退職給付に係る負債	921	945
その他	736	845
固定負債合計	4,600	5,059
負債合計	37,051	32,261
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	21,724	25,867
利益剰余金	80,480	87,650
自己株式	△6,140	△257
株主資本合計	110,923	128,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	919	1,845
土地再評価差額金	△7,003	△7,003
為替換算調整勘定	△250	252
退職給付に係る調整累計額	226	222
その他の包括利益累計額合計	△6,108	△4,682
新株予約権	55	-
非支配株主持分	8	13
純資産合計	104,879	123,451
負債純資産合計	141,931	155,713

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	40,545	51,845
売上原価	21,241	26,833
売上総利益	19,304	25,011
販売費及び一般管理費	12,904	13,756
営業利益	6,399	11,254
営業外収益		
受取利息	240	405
受取配当金	183	188
為替差益	-	277
その他	334	539
営業外収益合計	758	1,411
営業外費用		
支払利息	42	126
為替差損	2,111	-
売上割引	-	76
その他	63	62
営業外費用合計	2,217	265
経常利益	4,940	12,400
特別利益		
投資有価証券売却益	18	-
新株予約権戻入益	-	41
特別利益合計	18	41
特別損失		
固定資産除売却損	14	16
投資有価証券償還損	42	-
減損損失	19	-
代理店解約損	-	82
特別損失合計	76	98
税金等調整前四半期純利益	4,882	12,343
法人税、住民税及び事業税	1,085	3,403
法人税等調整額	308	△13
法人税等合計	1,394	3,389
四半期純利益	3,487	8,953
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,486	8,951

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	3,487	8,953
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,096	926
為替換算調整勘定	150	502
退職給付に係る調整額	△9	△3
その他の包括利益合計	1,238	1,425
四半期包括利益	4,726	10,379
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,725	10,377
非支配株主に係る四半期包括利益	1	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使による自己株式の処分により、資本剰余金が4,143百万円増加し、自己株式が5,821百万円減少いたしました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が25,867百万円、自己株式が257百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

海外連結子会社は、税金費用について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,401	2,976	1,420	35,798	4,747	40,545
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	31,401	2,976	1,420	35,798	4,747	40,545
セグメント利益	9,104	701	254	10,061	663	10,724

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	10,061
「その他」の区分の利益	663
全社費用(注)	△4,324
四半期連結損益計算書の営業利益	6,399

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,856	2,898	1,359	47,115	4,729	51,845
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	42,856	2,898	1,359	47,115	4,729	51,845
セグメント利益	14,479	843	281	15,604	524	16,128

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	15,604
「その他」の区分の利益	524
全社費用(注)	△4,873
四半期連結損益計算書の営業利益	11,254

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

①受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。
(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比	受注残高	前年同四半期比
横編機	40,359	122.9%	9,278	71.2%
デザインシステム関連	3,160	103.8%	568	124.0%
手袋靴下編機	2,262	153.0%	1,131	382.6%
合計	45,782	122.5%	10,979	79.6%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。
(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期比
横編機	42,856	136.5%
デザインシステム関連	2,898	97.4%
手袋靴下編機	1,359	95.7%
その他	4,729	99.6%
合計	51,845	127.9%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。